

集られた軍×的労働者農民の数は實は七千人に達した。だが、それにも拘らず勤勞大衆の著しい××化は直ひ止めることが出来ないストライキ闘争及び農民闘争は、その数を増加したばかりでなく、激烈な闘争を示した。人民大衆の左傾化はまた著しく目立つた「米を××せよ」の闘争は全副到る處で組織され、廣汎な大衆の新たな層が参加した。天業省大衆の「動かせろ」の闘争は主要な都市において最も大衆的デモが組織された。農村の激減的對之化は、勤勞農民大衆を否滅せしに闘争に動り立てた。高利貸資本、低價廣務の重壓獨占價格の搾取、税金の重課等に對する反動闘争は「農民委員會」活動の形態で擴大された。かくの如き一般的情勢の下にあつて、我が全國水準は、一九三二年に於ける特殊地海解放運動を知解に戦つたか！

1、中央委員會

(イ) 第一回

一九三二年度第一回中央委員會は三月二十三日、熊本縣に於て左の如く開催された。

出席者

- 松本治一郎 (福岡) 野崎清二 (岡山) 藤原喜三太 (香川)
- 前田平一 (兵庫) 坂本清一郎 (奈良) 赤坂岩松 (大阪)
- 朝田善之助 (京都) 岸部榮松 (三重) 生駒長一 (愛知)
- 1 以上中央委員

泉野利喜藏、北原春作 1 以上常任委員
 草香一介 1 常任書記
 傍聴者

各府縣代表者十一名